

令和4年度 八重瀬町立具志頭中学校各教科シラバス

教科名	中学1年 国語科	
教科担当氏名	小串 千夏	
教科書名	国語1年	
副教材名 (問題集)	国語の学習1 (明治図書) 新国語便覧 (秀学社)	確認から発展 (学宝社)

はじめに：目標に向かって自ら学ぶ、心豊かでたくましい生徒の育成を目指し、教科シラバスを示します。

具志頭中学校の生徒のみなさんが、これからの社会で必要になる「生きる力」を身に付けることを目指し、全先生方が力を合わせて、各教科の授業を実践していきます。「生きる力」とは、①基礎・基本を確実に身に付ける ②自分を律し他人を思いやる心を持つ ③健康で体力をつける 等です。これは、具志頭中学校の学校目標：❶目標を持ち自ら学ぶ生徒 ❷情操豊かで思いやりのある生徒 ❸健康でたくましい生徒にも表されています。生徒のみなさんが、それぞれの夢や目標を持ち、級友と学ぶことで思いやりの心を育て、各活動を通して健康でたくましく成長するために、学校生活を有意義なものにしましょう。取り組む活動すべてが大きなチャンスにつながります。具志頭中学校！ GOOD SEE CHANCE！

1 教科の学習について

学習のねらい	(1)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 (2)筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。 (3)言葉が持つ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。
授業のすすめ方	(1)基本的な授業の流れは、①言語事項の基礎(漢字学習等)②目標の提示③課題へ取り組み(交流を元に、自分の考えをまとめる)④まとめ・振り返りとなります。 (2)「話すこと・聞くこと」に関しては、話す聞くの単元の学習や、音読発表や音読テスト、友達の発表を聞いた感想やメモ等を通して学習を深めていきます。 (3)「書くこと」に関しては、授業の中で自分の考えを書いて交流したり、「意見文」「読書感想文」定期テストの課題作文の個別指導などを通して、基本的な文章作成の技術を身に付けていきます。 (4)「読むこと」に関しては、教科書の本文を読んで考えたことや感じたことを友人と交流しながら「読み」を深めていきます。
学習上の留意点	国語は「言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力」をつけるための授業です。以下のことに留意しながら、学習に取り組むようにしましょう。 (1)自分の意見を持って積極的に表現しましょう。 (2)友人との意見交流を通して、自分の考えを深めましょう。 (3)授業中の大事な部分はメモを取り、後で読み返して理解が深められるようにしましょう。 (4)授業の後には必ず復習をし、学んだことを定着させましょう。特に言語事項は何度か繰り返す内に定着します。自主的な学習を推奨します。

2 評価について

評価方法	評価は、3つの観点で行います。 (1)知識・技能…定期テスト、漢字テスト、単元テストなど (2)思考・判断・表現…定期テスト、聞き取りテスト、音読、課題提出、意見発表など (3)主体的に学習に取り組む態度…授業への取り組み、課題への取り組みなど
定期テスト	定期テストは、2つの観点から出します。 ・知識・技能…30～40%程度 ・思考・判断・表現…60～70%程度

3 年間指導計画

月	主な学習内容および項目	教材・教具等
4月	○朝のリレー ○野原はうたう	国語の持ち物 ①教科書
5月	○シンシュン ○情報を整理して書こう ○ダイコンは大きな根？	②ノート ③国語の学習 1
6月	○ちょっと立ち止まって ○言葉のまとまりを考えよう	④ファイル ⑤新国語便覧
7月	○詩の世界 ○比喩で広がる言葉の世界	⑥鉛筆（シャーペン） ⑦消しゴム
9月	○大人になれなかった弟たちに・・・ ○星の花が降るころに	⑧マーカー ⑨赤ペン
10月	○「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ ○根拠を示して説明しよう	⑩定規
11月	○蓬萊の球の枝「竹取物語」から ○今に生きる	その他（あれば便利） ①国語辞典
12月	○「不便」の価値を見つめ直す ○言葉の関係を考えよう	②漢和辞典
1月	○少年の日の思い出 ○単語の性質を見つけよう	
2月	○随筆二編 ○構成や描写を工夫して書こう	
3月	○一年間の学びを振り返ろう	

4 授業をうける心構え

- ・休み時間に学習用具を揃え、授業開始3分前には着席し、チャイムと同時に立腰・黙想を行います。
- ・授業の目標を確認し、課題が目標にどう繋がるか意識して学習に取り組もう。
- ・積極的に発言・発表し、友達の意見と自分の意見を比べていく中で、自分のものの見方を広げよう。
- ・友達と協力して課題を解決する中で、どう伝えれば相手が理解するか、考えを伝える技術を磨こう。
- ・上手にまとまらなくても、まず自分の考えを持たないと、対話から意見を広げることはできません。
- ・分からないことはそのままにせず、必ず質問して理解しよう。
- ・授業中に大事だと思ったことはメモをする習慣を付けよう。
- ・学習内容を振り返り、目標が達成できたか確認しよう。
- ・宿題・提出物の期限を守り、計画的に学習する習慣を身に付けよう。

5 家庭学習のアドバイス

- ・教科書を正確にすらすら読めるまで音読をすることで、自然に読解力と文法が身につきます。
- ・漢字はただ何度も書くだけではなく、自分でテストをしながら合格するまで繰り返すことが必要です。
- ・文法も覚えることが多いので、授業後の復習を忘れずにやりましょう。
- ・古文や漢文の有名な部分を暗唱することで、これからの古典の学習の基礎固めになります。暗唱が苦手な人も、だんだん上手に、速く覚えられるようになってきます。あきらめしないで頑張りましょう。
- ・テストで間違えた問題をもう一度考えてみることで、次の正解に繋がります。
- ・自分の苦手な分野を把握し、少しずつでも取り組んでいきましょう。
- ・国語の学習（問題集）は自主的に学習し、理解できない部分は必ず質問しましょう。